

第3回 生体医工学研究センターシンポジウム  
「ストレスの可視化に向けて  
—ストレスマネージメントの可能性—」を開催

日時：2013年2月17日（日）14:00～17:30

場所：東洋大学白山キャンパス 井上円了ホール

主催：東洋大学生体医工学研究センター

東洋大学（文京区白山／学長・竹村牧男）では、2月17日（日）に、東洋大学生体医工学研究センター主催シンポジウム「ストレスの可視化に向けて —ストレスマネージメントの可能性—」を開催します。

生体医工学研究センターは、東洋大学大学院工学研究科での研究教育を基盤に「脳科学を基盤としたストレスの可視化によるヘルスサポートシステムの開発」をテーマに研究しています。

また、当研究はその社会的需要と先進性により、平成22年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択されています。

3回目となる今回のシンポジウムでは、「ストレスの可視化に向けて —ストレスマネージメントの可能性—」をテーマに、ストレスと運動に着目し、脳科学的アプローチによりストレスの可視化を試みている本研究センターの取り組みを紹介します。

【シンポジウム「ストレスの可視化に向けて—ストレスマネージメントの可能性—」概要】

■日 時：2013年2月17日（日）14:00～17:30

■場 所：東洋大学白山キャンパス 井上円了ホール

〔東京都文京区白山5-28-20 [http://www.toyo.ac.jp/access/hakusan\\_j.html](http://www.toyo.ac.jp/access/hakusan_j.html)〕

■主 催：東洋大学生体医工学研究センター

■参 加 費：無料 ※事前申し込み不要

【プログラム】

14:00～14:10 センター長挨拶 生体医工学研究センター長／東洋大学理工学部教授  
寺田信幸

14:10～15:10 講演 1「バイオフィードバックトレーニングによるブラキシズムの治療」  
明海大学歯学部教授 藤澤政紀

15:10～16:10 講演 2「筆跡の時間情報を用いたメンタルヘルス不調の予兆把握」  
東洋大学生命科学部教授 川口英夫

16:10～16:30 休憩

16:30～17:30 講演3「日常生活で経験する様々なストレス反応は脳のどこで起こるのか？  
～特に脳幹部の役割について～

メルボルン大学フローリー神経科学研究所 Dr.Robin M.McAllen

※英語講演（同時通訳あり）

【一般からのお問い合わせ】

東洋大学生体医工学研究センター URL <http://www.toyo.ac.jp/rc/bme/>

TEL：049-239-1943 MAIL：bme@toyo.jp